

参 考 資 料

“ハニルS”による煎じ薬の調製例

処方名	1日分量 (g)	30日 分量(g)	加える水 の量 (L) ¹⁾	沸騰まで のおよそ の時間 (分)	沸騰後の 加熱時間 (分)	煎じ上が りの液量 (L) ²⁾
麻黄附子細辛湯	8.0	270	10.5	40	30	9.57
真武湯	13.0	390	10.5	45	30	9.64
苓桂朮甘湯	15.0	450	10.5	45	30	9.47
半夏瀉心湯	18.5	555	11.0	45	30	9.49
柴胡桂枝湯	22.0	660	11.0	45	30	9.32
補中益气湯	22.5	675	11.0	45	30	9.16
十全大補湯	29.0	870	11.5	45	30	9.67
加味帰脾湯	30.0	900	11.5	45	30	9.46
人参養栄湯	31.5	945	11.5	45	30	9.44

60 のお湯を用いた場合、沸騰までの時間が、およそ30分間短縮されます。

1) 90包(約9L)分の煎じ薬を得るために必要な水の量。

2) “ハニルS”の使用環境においては、煎じ上がりの液量が多少変化することがあります。